

コード	204010115
記入日	H24.5.14

課コード	114
課名	水道課
課長名	吉本 佳文
担当者	坪井 孝一

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川地区統合簡易水道整備事業基本計画策定事業
----------	------------------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	1
施策コード	204	施策名称	暮らしを支える水道の整備	項コード	1
基本事業コード	20401	基本事業名称	安全で良質な水の安定供給の推進	目コード	1
事務事業コード	2040101	事務事業名称	簡易水道特別会計事業費	細目コード	特別会計
関連計画	新上五島町簡易水道事業統合計画		法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 有川地区水道使用者	(対象2)	(対象指標1) 6,257人	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・現在の6地区の簡易水道を2地区の簡易水道とする。 (有川地区簡易水道事業と崎浦地区簡易水道事業とする。)	・有川地区統合簡易水道整備事業基本計画を作成した。	*****	*****	*****	基本計画書1.0式	*****
		① 基本計画策定	1.0式	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおりに達成することができた。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・現在6簡易水道、8浄水場により水の供給を行っているが、老朽化が著しい施設及び管路の更新を行うにあたり、水源及び施設の見直しを行い、施設を統廃合し効率的な施設整備計画を策定し、更なる安定供給を図る。		*****	*****	*****	許可申請書1.0式	*****
		① 認可申請書	1.0式	100%		平成23年度
		(達成率分析)	計画どおりに達成することができた。			
		②				
		(達成率分析)	計画どおりに達成することができた。			

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	②					
成果指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	② %	100	100		100	100
総事業費 C (A+B)	千円	15,788	15,788		15,788	15,788
直接事業費 A	千円	12,288	12,288		12,288	12,288
人件費 B	千円	3,500	3,500		3,500	3,500
内訳	従事職員数	人	0.5		0.5	0.5
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円	12,200	12,200		12,200
	その他	千円				
一般財源	千円	3,588	3,588		3,588	3,588

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	水道水の安定供給は不変的なものであり、当然行うべきものである。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	計画どおりに達成することができた。
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	単一事業であり、事業を推進するうえで適切である。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点（事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点）	
	<p>目標年度（平成32年度）における人口及び水需要の予測を行い、有川地区の更なる安定供給を図る。</p>	
1 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策（目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策）	
	<p>目的は達成された。</p>	
2 次 評 価	<p>安全かつ安定的な水道供給を行うための基本となる施設整備計画であり、水道行政に資するものである。今後は投資効果や事業の検証を行い、計画どおり事業が進捗するよう努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。